

2019年

新しい場所で新しいスタートです。

新しいスタートで心を開いてみよう。
 新しい気持ちでかかわってみよう。
 偏見や先入観を取り除く努力をしよう。
 差別と闘う勇気をもとう。
 新しい年、新しい出会いを迎えて
 みんなに感謝を伝えたい。
 みんなと出会えた喜びを感じたい。
 今年もよろしくお祈りします。

- 障害者支援センターぶったあ
生活介護・就労継続支援B型
- 食堂ひとやすみ
就労継続支援B型
- グループホームぶったあ「ここから」「歩歩」「いろは」
共同生活援助

社会福祉法人ぶったあ福祉会 職員一同



2019年 1月31日

NO. 105

ぶったあ

通信

発行 社会福祉法人 ぶったあ福祉会
 〒六五六二四〇一 淡路市岩屋一六五の四
 みんなの家Ⅱ (0799)70-6145
 みんなの家Ⅲ (0799)70-4001
 携帯電話 090-8211-5087

赤松 典嗣
 東 千歳
 安藤 やまこ
 伊郷 真一郎
 磯岡 洋子
 岩井 昌久
 上村 友規
 榎本 百合子
 片山 英樹
 川野 耕治
 坂本 美津枝
 澤井 祐子
 地行 千世子
 城下 都
 城下 陽一
 鈴木 健
 隅田 千幸子
 高田 直美
 高辻 芳幸
 立木 由佳
 塚本 幸子
 中谷 秀子
 中谷 勇一
 長野 陽子
 藤井 蘭
 藤永 憲
 藤森 美和
 古市 みゆき
 保地 みちか
 正木 君枝
 山崎 幸美
 山本 令子
 松本 静子
 米田 静子

(五十音順)

淡路市からお借りした旧幼稚園の改築工事が9月末に終了しました。新しい場所での事業展開は、10月の初めから始まっていましたが、引っ越しについては、仕事の合間に自分達でしたこともあり、11月の中旬までかかりました。よってオープンングセレモニーはその後になってしまいました。

11月24日土日のオープンングセレモニーには103名の参加があり、理事を代表してあいさつをさせていただきました。事務局からは、これまでの経過報告がありました。その後、55名の来賓の方々一人一人にあいさつをしていただきました。それぞれの方々からのあいさつから、あらためて人と人とのつながりの大切さと、ありがとうございました。

続いて、「公益財団法人・神戸やまぶき財団」様、「関西ハウス工業株式会社」、「吉田設計」様、「ぶったあ福祉会」から感謝の気持ちとして花の贈呈をさせていただきました。

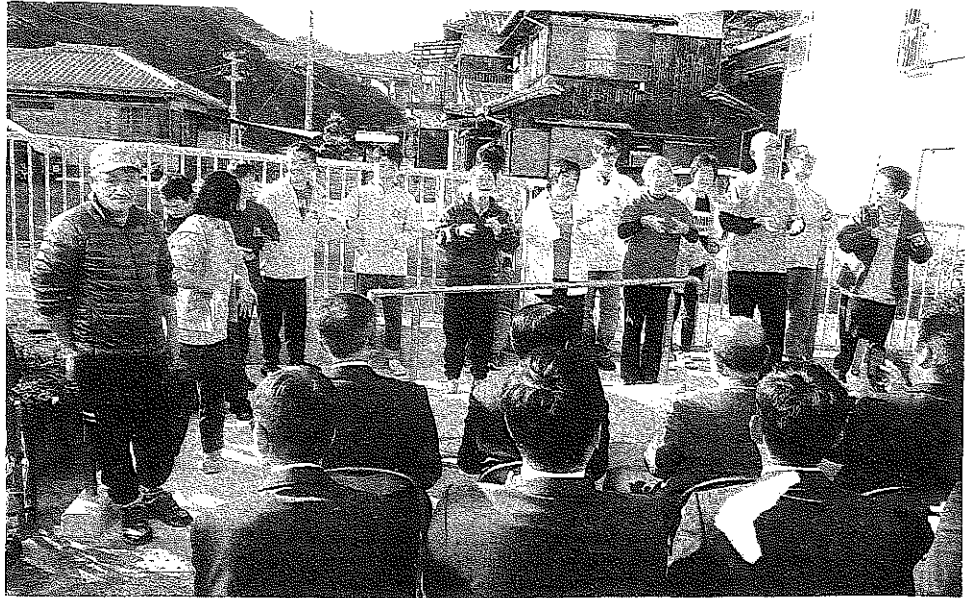
その後、メンバーによる手話歌の披露などがあり、最後に新しく改築された「みんなの家」を見ていただきました。ご苦労さまでした。



※神戸新聞社からの取材があり、翌日の淡路版に載せていただきました。ありがとうございます。

(追伸) ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。これから新しいこの場所で「地域で生きる拠点」となるよう、みなで力を合わせて進みます。

2018/11/24



新たな本部事務所は、パン工房を拡張して拡充し、利用者がパンやお菓子作りにも運営。同地区を中心に32人が利用していた。

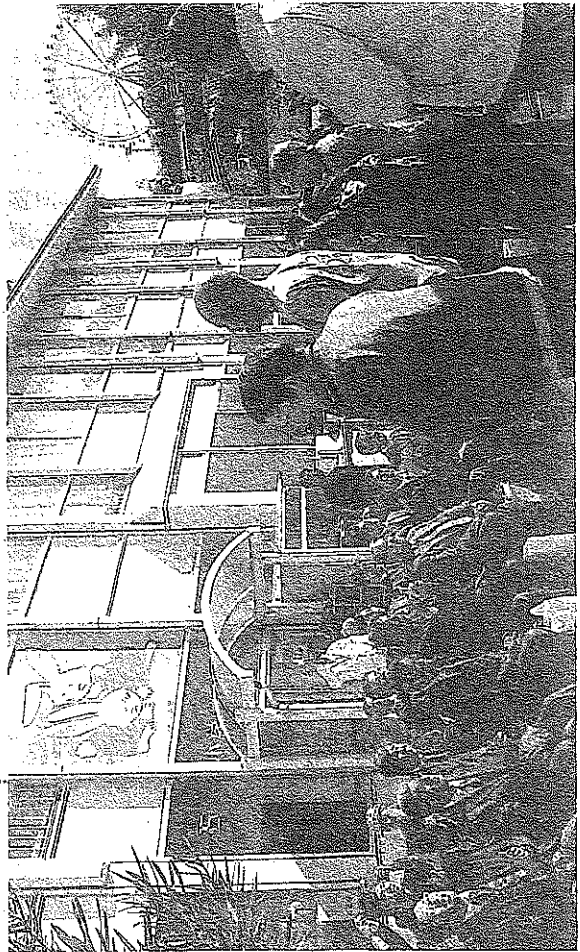
また本部事務所は、また新たに築約50年と老朽化が進み、雨漏りに悩まされるようになった。このため、認定こども園の開設に伴って16年に開設となった旧幼稚園の1階を改修し、入居すると

になった。若屋地区に生活介護や就労支援を行う本部事務所を置き、市内3カ所のグループホームや食卓なども運営。同地区を中心に32人が利用していた。

また本部事務所は、また新たに築約50年と老朽化が進み、雨漏りに悩まされるようになった。このため、認定こども園の開設に伴って16年に開設となった旧幼稚園の1階を改修し、入居すると

同会は1975年、「障害者の教育と生活を町で進める会」として発足。89年に共同作業所を開設し、2006年のNPO法人化を経て、16年に社会福祉法人

パン工房拡充、資料室も



障害者の自立や地域での生活を支援する社会福祉法人「ぶったあ福祉会」の本部事務所が、淡路市若屋の旧若屋小学校付属幼稚園に移転し、24日に現地で記念式典があった。出席した施設関係者は「地域の福祉を担うシンボル」と新たな誇りを出発した。

(渡辺裕司)

淡路市の「ぶったあ福祉会」移転
障害者支援新拠点で

障害者支援の新拠点となる「ぶったあ福祉会」の本部事務所。淡路市若屋

<<ぶったあクリスマス会>>

「ぶったあ」のクリスマス会

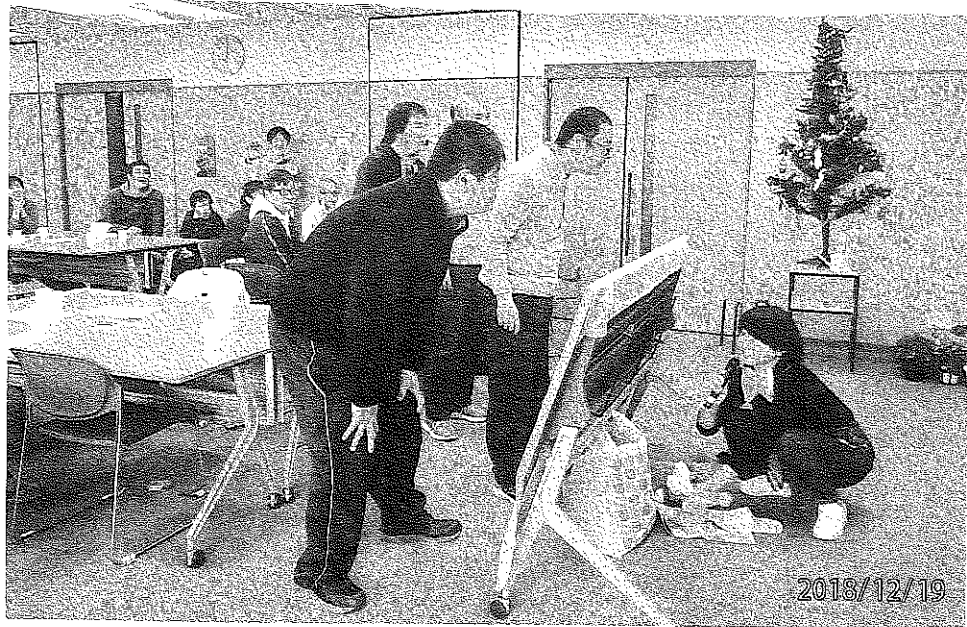
12月19日(水)

総勢60名が、今年も岩屋すこやかセンターをお借りして行いました。

昨年のクリスマス会を鮮明に覚えていることもあり、とても1年が過ぎたとは思われません。それほど1年は早いですが、本物?のサンタクロースは年をとるのだから?。少なくとも「ぶったあ」のサンタは年をとり、身体にも影響が出てきています。

話をもちし、今年のクリスマスはとうだったかという、にぎやかで笑顔がいっぱいの楽しいクリスマスでした。「びよんびよん」による、手話歌・踊り・クイズ・紙芝居・ハンドベルと盛りだくさんのパフォーマンスがありました。

職員の本木さん(ダンスの先生)とメンバーによる自由で楽しいダンスがあり、同じく職員の古市さんのクイズパフォーマンスがあり大いに盛り上がりしました。
みんなで手話歌をし、最後にサンタさんからたくさんのお話をいただき、今年もまた一つ、思い出に残るクリスマス会が幕を閉じました。



2018/12/19

<<グループホームの現状>>

2018年の動き

○「歩歩(定員3名)」

★Mさん、春から利用を始めたがうまく行かず退所しました。

★Tさん、日中、「ぶったあ」のB型を利用していましたが、一般就労ができました。次に、自立のための住まいを探していました。昨年の7月に住まいも決まり、グループホームを出て念願の一人暮らしを始めています。

★Sさん、家庭の事情から急遽9月から利用することになりました。

※現在、「歩歩」に空室はありません。部屋が3室なので、もう1室を増やせないか検討中です。

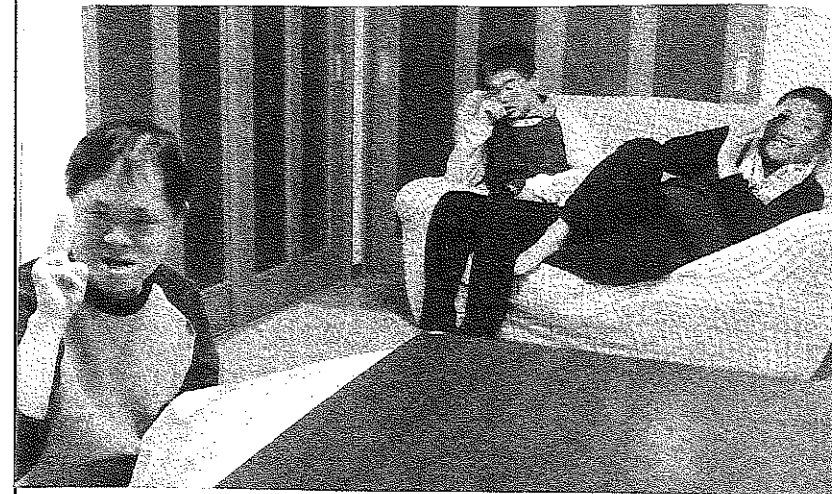
○「ここから(定員5名)」

★Nさん、病院退院後の生活の場が決まらなかったが、病院の支援を受けながらならグループホームでの生活も可能ということで、昨年の11月から利用を始めました。

※「ここから」は、水曜と日曜の泊まりの職員を配置していません。現在4名の方が利用しています。

○「いろは(定員6名)」

★Kさん、病院退院後の生活の場が決まっていなかったことから相談がありました。本人の意向もあり、昨年の3月から利用が始まりました。※現在5名の方が利用しています。残り1室は、日中利用のメンバーの緊急利用等で空けています。



一緒に歩いてくれる人を募集しています。

人は誰もが年をとり、老化していくのは自然の流れでもあります。家族の誰かが病気になれば、家族の誰かが病院に付き添ったり、入院となれば手続きをしたり、お医者さんからの説明を受けたりします。

グループホームを利用している人達も、年齢や持病から来る体調問題を抱えている人たちが多くいます。病気や入院となればグループホームや日中の職員がその役目を果たしています。

ただ、グループホームは障害者総合支援法の事業として、利用収入で成り立っています。入院となると、その収入がなくなり、少なからず運営に影響があります。

看取りをどうとらえ、どう考えて行くのかが話として出てきます。そこには、安定した

運営と余裕ある人員配置が常に問われてきます。

<<ピープルファーストの活動>>

ピープルファースト宣言

ピープルファーストは障害をもつ当事者のグループです。

今も、いろいろな事件が増えつづけています。

たとえば三田市の親による監禁事件、後見人をつけたことによって役所の仕事を辞めさせられたり、本人の知らないところで勝手に裁判が進められ、発言する権利が奪われるなど、そんなことは「ゆるせない」と闘っている全国のなかまがいます。

旧優生保護法では子どもがほしいのに、国の勝手な法律で子どもを産めなくする手術をうけさせられたなかまがたくさんいます。

この法律では、国は「不良な子孫が生まれてこないように防止する」と言っていました。

そのような発言は津久井やまゆり園事件の犯人が「障害者はいらぬ」と言っていた言葉と同じです。

そんなことは絶対にゆるせません。
障害があっても大事なひとつの命です。

障害者虐待防止法ができたのに、全く役に立っていません。
このような事件を減らすためにも、もっと大きな声を出して国にみんなが暮らしやすい法律をつくれと言いつづけていきます。

また今年には全国各地で災害がおこりました。
災害で苦しんでいるなかまたちを助けていきたいです。

私たちは障害者である前に一人の人間だ。

(第24回ピープルファースト大会 in 奈良)

第24回

ピープルファースト大会 in 奈良

今年の全国ピープルファースト大会は、12月1日(土)と12月2日(日)にかけて奈良で行われました。「ぶったあ」から3名(職員1名)が参加しました。

奈良大会のテーマは「なかまと共に差別・虐待のない平和な社会をつくろう」「言いたいことを言いあおう」です。

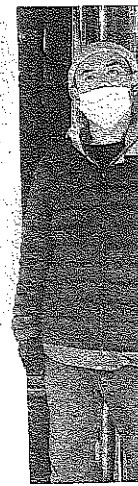
一日目は、開会式と全体会が奈良県文化会館国際ホールでありました。全体会では、優生保護法による強制不妊手術・津久井やまゆり園の事件、三田市監禁事件、塩田さんの後見人制度の裁判についての話。福島のがなかまからの話などがありました。全体会が終わり、夜に「交流会」がホテル日航奈良でありました。

二日目は、分科会と閉会式が奈良県文化会館国際ホールなどで行われました。

分科会は、①元気がでる話②生活保護について③平和な社会を築いていこう④みんなですてきな出会いをしましょう⑤自立生活をしよう⑥前につきすすめ!前進愛知!!⑦障害者権利条約(いのち)について⑧自分の歴史を話そう⑨パンジーメディア⑩「花子の結婚宣言」です。

「ぶったあ」の2名は①番の「元気がでる話」に参加しました。

分科会の終了後に閉会式があり、大会スローガン、ピープルファースト宣言がアピールされました。また、来年の全国大会は「大阪」で行われることが発表されました。



第24回

ピープルファースト大会 in 奈良

日程/平成30年12月1日(土)・2日(日)
会場/奈良県文化会館 国際ホール

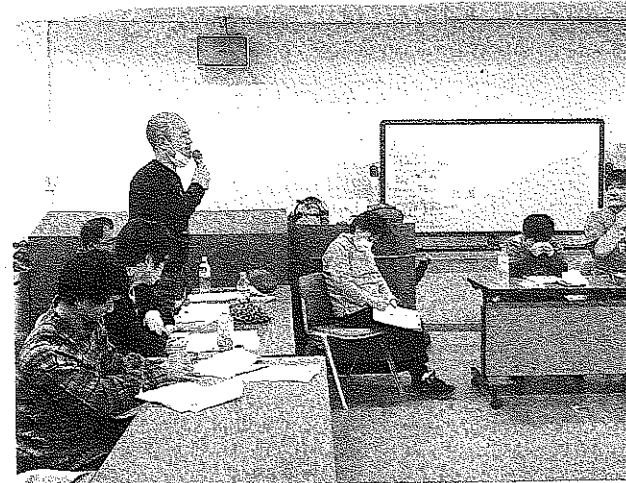


兵庫ピープルファースト会議 1月20日(日)

こうべ市民福祉交流センターにて行われ、5名(職員2名)で参加しました。

2019年の年間スケジュール、決めたあと、昨年に起こった三田市の監禁事件についての座談会を行いました。

約30名の参加者が事件に対する意見を交わしました。



第14回淡路市人権を考える集い

12月1日(土)

淡路市・淡路市教育委員会・淡路市人権教育研究協議会主催で淡路市ふるさとセンターで行われました。

人権尊重ポスター・標語の表彰式。「明日を信じる」と題した鈴木真己子さんの記念講演、鈴木凛太郎のピアノ演奏がありました。作業所の販売も行われ、私達も集いへの参加とともに販売もさせていただきました。



サンタクロースマラソン in 淡路
～ファストサンタ～

12月16日(日)

主催はサンタクロースマラソン in 淡路実行委員会です。サンタクロースの格好をした人達が、左岸を走りました。「ぶったあ」からも4名がマイペースで走りまわりました。

最後のサンタクロースマラソンになりましたが、毎回、お菓子や花の販売もさせていただきました。ありがとうございました。



第48回淡路合同クリスマス会

12月2日(日)

淡路キリスト教連合会の主催で、グット・サマリタン・チャーチ洲本チャペルで行われました。毎年、花とお菓子の販売をさせていただいています。この日集められた献金は、私達「ぶったあ」と「西日本豪雨災害支援」のために献けて下さいました。



愛のクリスマスプレゼント贈呈式

12月20日(木)

洲本総合福祉会館で、パナソニックエナジー労働組合洲本支部様、パナソニックグループA I S社様、三洋電機株式会社洲本工場様より、3ヶ所の施設に電化製品の寄贈がありました。「ぶったあ」はデジカウント方式の衣類乾燥除湿器を贈呈して頂きました。



1月19日
復興
ふるまい
もち 2019年
13日～14日 30:30
街商店屋
花の店 ぶったあ
主催 社会福祉法人
ぶったあ福祉会

震災復興元氣ふるまいもち

1月19日(土)

ぶったあが毎年行っているもちつき大会が今年はいんぷるエんザの影響で中止になりました。

代わりに今年はいんぷるエんザの「かじた屋」さんから購入したおもちを、商店街のお店や通行中の方々に配りました。

第4回淡路市集落福祉フォーラム

1月26日(土)

淡路市社会福祉協議会主催で震災記念公園セミナーハウスで行われました。

まず、淡路市社協事務局長の風さんから「淡路市の活動から感じる集落と福祉(支えあい)の関係」と題した基調報告がありました。

続いて実践報告として、津名大町地区から「人と知り合い、仲間になる楽しさ。」と一宮江井地区から「集落のハートモニー」の発表がありました。

その後、パネルディスカッションがあり、最後に関西学院大学・人間福祉学部の藤井博志教授からまとめの講話がありました。



「スタッフの声」

施設の中で、
私はい言ってしまう
「したらあかんやろ」
「なんべん言ったらわかるねん」
口に出さなくても、
心の中でつぶやいている
あなたを叱ったり、
あなたを怒ったり
こんなふうに
くり返しているわたしが
変わるように
もっとあなたを知って
もっとあなたのこと
考えてみよう

「メンバーの声」

好かれないのに、
言ってしまった
嫌われたくないのに、
たいていしまった
ほめられたいのに、
やってしまった
言葉で伝えられない気持ち
わたしの心から飛び出して
他人を傷つけてしまう
そうならないように
わたしに声をかけてね
わたしもあなたの友人だと
認めてね
あなたが変わっていきけるように
わたしも変わりたいから
わたしに力をかけてね

利用者募集

障がいがあっても、共に学び、楽しみ、働く喜びを求めるメンバーを募集しています。
愉快的メンバーや、スタッフが笑顔で迎えます。
いつでもお問い合わせください。

職員募集

利用者の日常生活及び授産活動の支援を行っていただける方を募集しています。
詳しくは下記電話番号までお気軽にお問い合わせください。
連絡先 0799-70-6145

【ご寄付ありがとうございました】

(11月22日・敬称略)

- 上村昇司・栗山一宇・尼崎和美・伊藤義彦・西山満利・上野あけみ・五百蔵聡・大原利弘・久保田まさ子・岡田医院・針木穀店・小南廣之・社会福祉法人シキスト教会・中島治子・永井満・岩屋キリスト教会・加藤公朗・中村明裕・リニック理事長松田聡・松田アイク・淡路キリスト教会・隅田由紀子・上川みどり・藤井康文・富永清子・林商店・比良妙子・川端正男

ご協力ありがとうございました

ご寄付のお願い

「ぶったあ福祉会」では、障がい者の地域生活を支援するために様々な事業を展開しています。どんな障害があろうと、働き、社会参加していく場を広げようと日々取り組んでいます。そのようなぶったあ福祉会の理念を実現するために、財政的な面でご支援いただける方を募集しています。金額はいくらでも結構です。宜しくお願い致します。

- ◇ご寄付いただく場合には、申請書に記入が必要になります。
- ◇社会福祉法人への寄付には、税制上の優遇処置があります。確定申告時に、寄付された領収書を提出してください。
- 【郵便振替】
00940-4-276683 社会福祉法人ぶったあ福祉会
- 【お問合せ先】
ぶったあ福祉会事務局 会計担当 立木
(電話番号 0799-70-6145)